

新聞情報

発行所
株式会社 新聞情報社
www.shimbun-joho.co.jp
東京本社
東京都中央区銀座 6-7-16
電話 03(3573)7628
FAX 03(3574)7901

すこぶる版

月2回発行

新聞教育からメディア教育へ

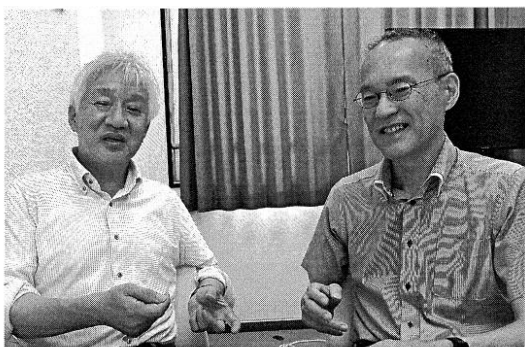
兵庫で一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0設立

福田浩三代代表理事・三好正文理事に聞く

新聞を教材として活用するNIE（教育）に新聞を、S N Sや生成AIなど多様なメディアを対象とした教育活動に取り組む一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0が4月、兵庫県で設立された。小中高で新聞の役割や信頼性も校や大学での授業、教員研修を通して情報リテラシーの育成を進めている。協会設立の狙いや活動の方向性について、福田浩三代代表理事と三好正文理事に聞いた。

——協会を設立していました。個人で活動するより法人化した方が、社会的信用も得られ、継続した事業として発展させやすいと判断しました。情報を「読む」「考える」を育む「NIEs2.0」を育むこととなります。以前から新聞教育の理論研究を続ける中で、実践との結び付きを強めたいと考え

——「新聞教育協会」ではなく、「メディア教育協会」とした理由を教えてください。



一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0について話す福田浩三代代表理事（右）と三好正文理事

課題を発見し、解決する力を育てる

——従来のNIEと、今の私たちは新聞をどのように活用していますか。

三好 新聞を読むことが目的ではなく、社会の中で主体的に考え、行動できる力を身に付けることが目的です。私たちが求めているのは、情報を読み解くための優れた教材ですが、SNSやインターネットも含め、それぞれの特徴を理解し、情報を比較しながら自分で判断する力を育てることが重要。芸術・教養・数学を教科

——授業ではSTEAM教育の考え方も取り入れていますか。

福田 文部科学省が推進しているSTEAM教育は、科学、技術、工学、芸術、数学を教科

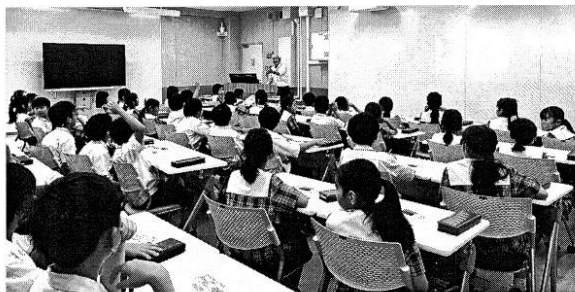
【福田代表理事・三好理事プロフィール】

福田代表理事は、今春退職するまで、兵庫県立高校などで教師を務めた。長年にわたっては、新聞を活用したNIEに取り組む、日本・淡路大震災取材経験など、新聞協会のNIEアドバイザーも務め、記者出前授業の経験も豊富だ。

形を表すとともに、多様な教育ニーズに応える「needs」の意味も重ねています。「2.0」は従来の新聞教育を発展させる次の段階を目指すという考えです。

——現在はこのような活動を展開していますか。

三好 小中高校への出前授業や教員研修を中心として、大阪教育大や流通科学大、関西学院大新聞科など、大学の講義も行っています。京都・大阪・兵庫をはじめ、オンラインを活用して県外にも活動を広げていきます。授業内容は



京都聖母学院小での出前授業（メディア教育協会NIEs2.0提供）

はホームページで詳しく紹介し、実践を共有すること大切にしていきます。

——「新聞をつかった『やさしい日本語』研究会」の事務局を担い、新聞社の記者や教育関係者とともに研究を続けています。伝える相手を意識して言葉を選ぶことは、情報発信の基本であり、メディア教育そのものにつながります。

——今後の展望を聞かせてください。

福田 一般的な学校だけでなく、日本語学校や夜間中学、留学生教育などへも活動を広げたいと考えています。オンラインも活用し、地域を問わず学べる環境づくりを進めます。

三好 退職した教員や新聞関係者など、それぞれの専門性を持つ人たちが活躍できる場として協会の育成をたいです。

——「やさしい日本語」の活動にも取り組んでいますが、誰一人取り残さないメディア教育を全国へ広げたいと考えています。

福田 外国人だけでなく高齢者や子ども、障害のある人など、様々な人に伝わる表現を考える取り組みです。

新聞情報

2026年7月25日付1面